



祝祭日には



を掲げましょう

# いまこそ集落創生

第21回 外沢地区



㊦今年1月のお歳灯の様子 ㊦(上から)11月には公民館の雪囲い後、芋煮など秋のごちそうを囲んで懇親会を開催／外沢地区唯一のふるさと壁画「主寝坂の思い出、流れゆく四季の詩」

町中心部から中田方面へおよそ10km。町内で最も北に位置する地区が外沢です。現在、ひとり暮らし高齢者の方を含め、13世帯34名程が暮らしています。昭和の時代には100名を超す人々が暮らしていた外沢。実はかつて、集落の集団移転を経験しています。

さかのぼること約20年前――。新主寝坂道路の予定地に沿って形成していた地区内の主寝坂集落は、平成12年の着工を前に移転を余儀なくされました。実際には7世帯40名余りが町内外に移住し、思い出深い故郷を離れることに。若者の減少などもあり、山の神秋祭でのミニ山車巡回やビニールハウスの中で行うカラオケ大会など、地区特有のイベントも惜しまれながら終止符が打たれました。しかし、平成24年には集落跡地に「ふるさと壁画」が完成。そこには、住民のたくさんの思い出が描かれました。当時行われた除幕式で、集落出身の方は「何もなかった主寝坂に、こんなに素晴らしい壁画が残ってとても嬉しい」と感慨深く語っていました。

現在地区では、6月のレクリエーション大会や秋の懇親会など、年4つの地区行事を実施していますが、栗田利一<sup>としか</sup>区長は「地区民の全員参加が目標だ」と話します。区長は地区運営に関して「役員の合理化を進め、負担の軽減を図っていきたい」との考え。「人口の少ない地区だからこそ、高齢化や人口減少を受け入れることが大切。全員の協力で運営していきたい」と力を込めます。キーワードは「全員運営」。これは、地域の見守り機能の強化や健康長寿を促す仕組みとして、多くの地区が見習うべき考えだと感じます。

## 編集 幸記

▼今年も「山形ふるさとCM大賞」が開催されました。本号がお手元に届く頃には、すでに放送されているはずですので、あえて結果は書きませんが、20回目の節目に気合いを入れて臨んだ分…(泣)。また機会をいただければ、チャンネルジッしたいと思います。

▼集落創生を通して、主寝坂集落の歴史を知り、知らないことがまだまだあるのだと痛感。そうした物語を、町の若者にも知ってもらえるよう発信することも広報の使命だと実感しました。(つね)

金山町の人口は、5,426人(10月末現在)

男性	2,645人(+3)
女性	2,781人(-3)
世帯数	1,759世帯

▼10月の異動

出生	2人
死亡	4人
転入	10人
転出	8人